

JR ほすびたる



第244号
2021年9月号
発行責任者 事務部長



甲状腺疾患について

甲状腺は喉仏の下にあり、脳の下垂体から指令を受けて甲状腺ホルモンを産生する内分泌臓器です。甲状腺ホルモンは生体の発達・代謝を調節しており、生体にとって必要不可欠なホルモンの一つです。甲状腺疾患は甲状腺機能異常症(甲状腺ホルモン値異常)と腫瘍性疾患に大別されます。甲状腺疾患の頻度は意外にも高く、本邦における甲状腺機能異常症の頻度は男性では1.6%、女性では約3%、超音波検査による甲状腺腫瘍の頻度は男性で38%、女性で57%と報告されています。



内科
尾崎医師

今回は甲状腺機能異常症について解説します。血中の甲状腺ホルモンが多いものを甲状腺中毒症、少ないものを甲状腺機能低下症と呼称します。甲状腺中毒症では交感神経刺激症状である動悸、振戦、代謝亢進に基づく熱感、体重減少などが生じ、逆に甲状腺機能低下症では徐脈、耐寒能低下、体重増加などが生じます。どちらも甲状腺腫を伴う事が多く、甲状腺の触診は診断の契機となります。また、甲状腺中毒状態では一般血液検査で血清コレステロール低値、クレアチンキナーゼ(CK)低値、アルカリホスファターゼ(ALP)高値、甲状腺機能低下症では血清コレステロール高値・CK高値を呈することが多く、健康診断で甲状腺機能異常が疑われるきっかけになります。甲状腺機能異常を疑う症状を有する場合、健康診断で甲状腺疾患が疑われた場合は、早めの医療機関受診が推奨されます。甲状腺中毒症を来す代表的疾患はバセドウ病、甲状腺機能低下症を来す代表的な疾患は橋本病であり、両者共に甲状腺自己免疫疾患です。甲状腺機能異常を指摘された場合は、採血で甲状腺ホルモン値、脳下垂体ホルモンである甲状腺刺激ホルモン、甲状腺自己免疫異常の有無等を確認し、必要に応じて甲状腺超音波検査、甲状腺シンチグラフィを施行します。診断が確定したら疾患・治療法等について説明し、病状を理解して頂いてから治療を開始します。

甲状腺疾患治療は長い付き合いが必要となる事が多く、患者様自身が病状・治療内容を十分理解することがとても重要になります。当院は最終診断に必要な甲状腺シンチグラフィが施行可能な数少ない施設であり、これからも地域の甲状腺診療に貢献していければと考えております。





改めまして、地域医療連携室です！

地域医療連携室をご存じですか？

地域医療連携室は、病院をご利用されている患者さまに切れ目ない医療・看護・介護サービスを提供できるよう地域や医療機関、施設との調整・支援・連絡業務を行っている部署です。業務内容により、大きくは『前方連携』と『後方連携』に分けられています。

当院において前方連携は検査・診療受付が担当しており、後方連携は医療福祉相談を担う相談員（医療ソーシャルワーカー）が主治医や外来、病棟に関わるスタッフと連携し担当しています。

前方連携のお仕事



- ・他院からの紹介予約受付
- ・他院への紹介予約取得
- ・他院からの検査予約 など

後方連携のお仕事

- ・退院先について相談対応、調整
- ・紹介転院患者さまの情報収集と受け入れ調整
- ・関係機関（ケアマネや生活保護課など）との情報共有



患者さま・ご家族が安心・安全に生活するための病院窓口です。退院後の生活、介護や支払いのことが心配…など、こんな時は一人で悩まずに地域医療連携室にご相談ください。地域医療連携室では専任の相談員（医療ソーシャルワーカー）が介護に関すること、受診や入院に関すること、療養中の心配事、退院後の生活など様々な相談に応じています。相談をご希望の方は、1階総合受付、主治医、外来・病棟看護師へお気軽にお声掛けください。

事務部 地域医療連携室

サービス品質優秀賞本社部長表彰



8月10日、サービス品質表彰式が行われました。

コロナ禍で面会制限を行う中、患者さま、ご家族に少しでも

安心していただける入院環境を提供しようと取組んだ『オンライン面会』が、サービス品質優秀賞として白山サービス品質改革部長より表彰されました。

今後も面会制限などこの状況がまだまだ続くことが予想されます。これからも安全・安心かつ信頼されるサービスの提供を目指していきます。



〈JR はずびたる 第244号〉

☆JR 仙台病院・電話 0120-958-207 予約センター受付時間 9:00~16:00

【診察の順番は予約をされている方が優先となります。】

【当院は予約制となっておりますが、事前予約できない診療科や予約受付時間が上記と異なる診療科があります】

☆検査・診療受付・電話 022-380-2317

☆健康管理センター・電話 022-380-2330 各種健診予約受付時間 13:30~16:00

